



第二小区やすらぎの郷コミュニティ かわら版

- コミュニティ事務局 / 見附市本町2-5-9 中央公民館内
- Tel 62-1058 Fax 62-3199
- メール daini@city.mitsuke.niigata.jp

《見附第二小学校区》人口 745 人(-2)/世帯数 211 戸(-1) (24.12.1 現在)

ふるさとセンターの 建設が進んでいます



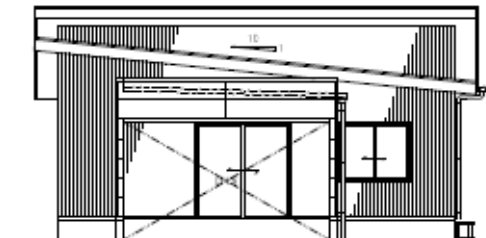
ふるさとセンターは、雪と戦いながら懸命な工事が進められおり、屋根ふきが終わり、外部工事と内部工事に入っています。外壁は黄色を基調にし、屋根は薄緑で周囲の景観に調和する配色となっています。

あくまで予定ですが、コミュニティホールには、自転車型や乗馬型の健康器具の設置や、他のふるさとセンターにはない薪ストーブの設置が検討されています。

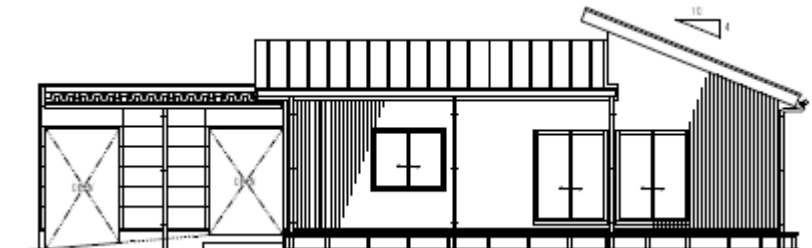
ただ気がかりなのは、調達資材の一部が全国的な品不足なため、正式使用が少し遅れそうなことですが、そうならない事を願っております。



外壁工事も始まりました 《12.25.撮影》



正面図(玄関まで緩いスロープです)



北側から見た図(大きな掃出し窓と濡縁が特徴です)



除雪機貸し出します



11月末、各コミュニティに除雪機が貸与されました。この除雪機は、地域の高齢者及び障がい者世帯等の宅地内の除雪を行う団体に貸し出し、地域での高齢者及び障がい者世帯の冬期間の交通の確保と生活環境の向上を図ることが目的です。依頼または自発的に高齢者及び障がい者世帯の宅地内の除雪を行う団体は、是非ご利用下さい。ガソリンはコミュニティで負担します。

なお除雪機は、ホンダ製の11.8馬力、除雪幅92cm、ローリング機能付で、搬送車に載せるためのスロープも用意しております。詳しいことは、センター長にご相談下さい。



やすらぎの郷^{まち}あれこれ・・・堀溝町イボ地蔵さま



地蔵堂(何時でも扉は開きます)



“イボ”地蔵尊



お供えのだんご

県道見附遅場線の通称“^{かわらや}瓦屋の坂”の上り坂が始まる辺りに、^{じぞう}地蔵尊を納めた^{じぞうどう}地蔵堂があります。

この^{じぞう}地蔵尊は江戸時代(約320年前)村松藩より『^{やまもりやく}山守役』を仰せ付けられた家の所有で、堀溝の城山と呼ばれる付近にあったそうですが、ある夜、山守役の家長の夢知らし(夢枕)にお地蔵さまが現れ『今祀られ^{ところ}処は人が通らず寂しいので、人の通る所に移して欲しい』と願われたそうです。早速、^{やまもりやく}山守役の家長は村の入口に連なる通称^{とのさまかいどう}殿様街道(現在一部廃道)沿いに移されたそうです。

その後この^{じぞう}地蔵尊は村持ちとなり、旧県道の整備に伴い、旧県道の入口に移され、さらに県道見附遅場線の整備に伴い現在の所に移されました。

この^{じぞう}地蔵尊イボ取りにご利益あるとのことで、以前は集落以外からもイボ取りの願いに来る人々も結構多かったとのことです。全国各地に多くのイボ地蔵があり、その願の掛け方は、イボをなでた手でお地蔵さんの同じところをさすったり、石でイボを擦りその石をお地蔵に^{ほうのう}奉納するなど色々です。

堀溝のイボ地蔵さんは、イボ取りを願う人の年の数だけ、むかご(山芋の実)をお供えしてイボ取りをお願いするそうです。なお堀溝の盆踊りはお地蔵さまのお祭りの日に^{ほうのう}奉納として行われ、今でも当日はこの^{じぞう}地蔵尊にお花やお団子をお供えています。

現在、堀溝全戸の婦人が会員となる^{じぞうこう}《地蔵講》という会により、^{じぞう}地蔵尊の維持管理を行っています。

行事のおしらせ『^{さい}杉沢町^{かみ}賽の神』



燃え盛る賽の神《24.1.15撮影》

日 時: 平成25年1月13日(日)
午後4時・・・式典
午後4時半・・・点火

場 所: 杉沢村字浦田
(火の見やぐらの近く)

ふるまい: 御神酒、甘酒、こんにやく

☆するめは各自でご用意ください

☆当日は堀溝町へコミュニティワゴン車での送迎を行います。



雪の中での式典《24.1.15撮影》



残り火でするめを焼く《24.1.15撮影》

事務局より・・・ 第二小区やすらぎの郷コミュニティが発足して8ヶ月、皆様のご理解とご協力を頂きながら、各部会とも幾つかの有意義なコミュニティ活動を行うことが出来ました。間もなく『ふるさとセンター』も完成します。今後も皆様のご意見を伺いながら、この地区ならではのコミュニティ活動を進めて行きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。それでは皆さま 良いお年を！